

東日本大震災から1年 病院職員の支援活動を報告します



東日本大震災により、東北地方は壊滅的な被害を受けました。それを受けて「被災地のために何かできないか」との思いを持った病院職員が様々な支援活動を行ってきました。この1年で行った支援活動をご紹介します。

宮道医師、榛葉医師被災地へ

自治医科大学同窓会で組織された医療支援プロジェクトの派遣チームとして当院の宮道医師が3月20日～27日まで、榛葉医師が5月27日～6月3日まで宮城県立釜石病院に入り避難所診療を行いました。



第64号

新城市民病院総務課
新城市字北畑32-1
Tel 0536-23-7852
Fax 0536-22-2850



東北ボランティア旅行

平成23年7月22日（金）～24日（日）に宮城県亘理郡山元町へボランティア旅行に行ってきました。17名の職員とその家族が参加し、側溝掃除を行いました。

福島第一原発へ

9月・10月・3月に放射線技師の安形診療運営部長が福島第一原発の診療所へ入りました。放射線量の計測など、現場で働く人たちの放射線事故を防ぐ手助けを行いました。

5月に再び福島第一原発へ入ります。



福興市で支援活動の写真を展示

平成24年3月11日に新城市民体育館で復興市 in 新城が開催されました。東北地方の物産販売や折鶴 from 新城などの企画が用意され、その中の一つとして「東日本大震災を風化させない」ことを目的に、病院職員が被災地で支援活動を行った時の写真を展示しました。



これからも支援活動を行っていきます

職員確保への取り組み

看護師パンフレットが完成

名古屋市内にあるデザイン系専門学校と連携して、看護師パンフレットを作成しました。医師募集パンフレットと病院マップに続き3部目となります。どれも色鮮やかで見やすいパンフレットとなっています。これらはホームページに掲載していきます。

また、病院パンフレットも現在作成中です。



看護師募集パンフレット

就職説明会に参加

3月19日(月)に新城商工会館で高校生を対象に企業説明会が開催され、当院からも看護師と技師、事務の3人が参加しました。

高校生と保護者の方々に市民病院の業務や職種について知っていただくことができました。未来の医療職の誕生を期待しています。



第6回院内発表会

今回で第6回となる院内発表会を3月17日(土)に行いました。各部署の職員が1年間の取り組みとその成果を発表し、情報の共有化を目的に、毎年この時期に行っています。

今年計8題の発表があり、活発な質疑応答が交わされました。

NO	演 題	部 署	発表者
1	テープ固定の形状とはがれやすさについて	診療運営部	4階病棟 重松 教子
2	MSWが行う退院援助	診療支援部	医療連携課 内藤 まゆみ
3	看護師確保の取り組み(新城以北の看護師不足を視野に)	診療運営部	伊東 早苗
4	点滴コントローラーの有用性の検証	医療安全対策室 ・臨床工学課	鈴木 祥仁
5	子宮頸部細胞診の新報告様式	診療支援部	臨床検査課 大塚 均
6	平成23年度感染症防止活動の報告	感染対策委員会	小林 真由美
7	職員満足度の向上 - 病児・病後児保育室開設について -	経営管理部	総務課 夏目 陽子
8	泌尿器科 慢性腎臓病 地域連携における栄養相談の役割	診療支援部	栄養指導課 鈴木 仁美



火災訓練を実施

2月28日(火)に火災訓練を実施しました。

火災が起こった時に迅速かつ的確に対応できるように2回行っています。今回は新城消防署の応援を得て訓練を行いました。



医師の異動

3月31日付退職

総合診療科 宮道 亮輔 医師

4月1日付採用

総合診療科 大島 明 医師
総合診療科 齋藤 彰敏 医師